

対象年度		平成31年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名		友愛メルヘン橋管理事業						予算事業名		施設管理経費	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	建築基準法, 耐震促進法		
			08	03	08	1101	経常経費				
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業			
	2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)										
	①計画的な市街地の形成						担当課係等	都市計画課			
4友愛メルヘン橋の改修							建築係				
事業期間		継続 (平成 5年度～平成32年度)									
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
安全で安心な環境及び、魅力ある街づくりにより住みよい住環境の提供。							平成6年の供用開始より、施設管理及び関係法令に基づいた保守点検業務が必要となる。築20年以上経過し老朽化している場所も目立ち、今後も鉄道利用客及び市民の安全を図るため、改修工事などを行っていかねばならない。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
●エスカレーター修理 ●エスカレーター保守点検業務 ●消防設備保守点検業務 ●電気保安管理業務 ●清掃業務 ●除草及び剪定							結城駅を利用する通勤・通学する市民、結城市を訪れる観光客				
							【事業をとりまく環境の変化】 建築後20年を経過しており、屋根、外壁などから雨漏りが発生しており、通勤や通学等で利用している市民に安全な施設を利用してもらうために、早急な改修が必要であることと、今後高齢者のバリアフリー対策も必要としエレベーターの設置要望もあり、さらなる住みやすい住環境整備が必要である。				
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】				
●メルヘン橋エスカレーターチェーン交換工事 ●メルヘン橋鳥害対策工事			●メルヘン橋ガイドローラ交換 ●バリアフリー環境整備計画策定 ●メルヘン橋外壁改修工事				●メルヘン橋バリアフリー化計画設計				

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	0	0			
	一般財源	16,230	19,651			
歳入計(千円)		16,230	19,651			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	11 需用費	4,058	11,353			
	12 役務費	121	122			
	13 委託料	6,770	8,176			
	15 工事請負費	5,281	0			
歳出計(千円)(A)		16,230	19,651			
伸び率(%)			21.07			
備考	総合計画71ページ 予算書145ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	改修工事の実施状況	回	目標	1.00	1.00	1.00
	駅利用者へ改修工事による安全対策		実績	1.00	0.00	0.00
	修繕工事	回	目標	12.00	6.00	6.00
	駅利用者に常に快適に使用できることを目標とする		実績	12.00	0.00	0.00
成果 指標	駅の利用者数	人	目標	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績	2,000.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	結城市の玄関口として、今後も維持管理に努める必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	JRとの協定により市が運営管理する施設である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	入札や、長期契約を適正に行うとともに、照明のLED化により光熱費を抑えコスト削減に取り組んでいる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	利用者に隔たりはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	緊急時や、定期的に修理を行い対応しているが、施設の老朽化により大規模な改修計画が必要である。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	改修工事に際し、JRとの協議が必要であること及び補助金の確保など課題は多い。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
年間保守点検業務委託により、日常の保守管理は適正に行われ、緊急時もすぐに対応し利用者に快適に利用できるよう維持管理に努めた。また、施設の照明をLED化したことで、ランニングコストが確実に下がり、環境面及び運営面でも成果があると考えられる。老朽化により大規模な改修が必要なため、県に補助金等の資金面の確保について相談を行った。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
維持管理は、緊急性のものも多いため引き続き持続していくことが必要である。 修繕の優先度計画を作成し、国庫補助及びJRの協議等、資金面と工事面の検討課題を解決していく必要がある。 また、バリアフリー化を充実させるため、エレベーターの設置も検討していかなければならない。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 老朽対策およびバリアフリー化への対応が求められる中、優先順位を検討し計画的に進める必要がある。また、予算措置についても、補助事業等を検討し財源確保に努める。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。